

令和2年度 北広島市市民協働推進事業  
公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

日 時	令和2年7月2日(木) 13:30~14:45
会 場	北広島市役所3階 会議室3D
出席委員	及川正勝委員、福与春美委員、成田俊樹委員、村上廣四委員、川辺栄子委員
傍聴者	0名
市出席者	【市民環境部】高橋部長 【市民参加・住宅施策課】安田課長、立野主査、池田主事 【子育て支援部】広田部長 【子ども家庭課】大西主査、花島主事

1. 開会

2. 市民環境部長挨拶

3. 市民協働推進委員及び事務局の紹介

4. 公開プレゼンテーション

《公益活動事業補助金申請1団体から発表》

■北広島市の高齢化の現状と高齢社会におけるまちづくり(仮題)に関する事業

「北海道地域政策調査会」による発表

《質疑応答》

○A委員

今年の参集対象として「民生委員代表」とあるが、広く民生委員全員に声かけはするのか。昨年の反省点として客が少なかったことを挙げているので、広く声かけをした方が良いと思う。

●市役所の力を借りながら、できるだけ広い範囲でいろいろなところに声をかけたいと考えている。

○B委員

講師はどのような方を呼ぶ予定なのか。

●まちづくりや福祉関係を専門とする市外の大学教授を予定している。

○C委員

パソコンの購入が費用として計上されているが、今パソコンはないのか。

●ないわけではないが、かなり古いため、事業をするために必要な範囲で中古品を購入する。

## 令和2年度 北広島市市民協働推進事業 公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

### ○C委員

パネラーについては、北広島市民をピックアップしてほしい。

●講師は市外の方を予定しているが、パネラーは市民を呼びたいと考えている。

### ○D委員

社会福祉協議会や市の福祉課と連携しているのか。

●連携はしていないが、その時のテーマに必要な連携をしながら活動している。

### ○B委員

会員名簿を見ると、市内の人が2人しかいないが、普段シンポジウムは道内各地でやっているのか。

北広島を拠点に活動するのであれば、もう少し北広島市民の会員を増やせないのか。

●札幌や岩見沢などいろいろなところでやっているが、今は北広島に事務所を設けているので、北広島を拠点に事業を展開していきたいと考えている。

北広島市民の会員は増やしたいと考えているが、会費もかかるためなかなか難しいところがある。そのため、以前から会員となっている方によって支えられている実態がある。

## 5. 事業報告会

〈平成30年度協働事業提案制度提案1団体、令和元年度公益活動事業補助金利用1団体から発表〉

### ■出張型（巡回型）ひろば事業

「子育て支援ワーカーズほっとまむ」による発表

### 〈質疑応答〉

#### ○C委員

東部地区でやるとすれば、場所はどこになるのか。

開催場所や広報活動は行政を活用し、どんどん事業を進めてほしい。

●美咲き野会館でやりたいと考えていたが、以前打診したときには難しそうだったため、現実的には東記念館を予定している。

印刷・配布など市に協力してもらっている。

#### ○A委員

ぜひ今後も続けてほしい事業だと考えているので、対象となる方に直接届くような広報を

令和2年度 北広島市市民協働推進事業  
公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

---

してほしい。

○E委員

月1回の開催だと、予定が合わずに参加できない人もいると思うので、月2回以上に増やしてほしいが、その余力はあるか。

●段階的に増やせたら良いと考えている。

○D委員

駐車場などの設備はどうなっているか。

●歩いて来られる広場を目指していたため、駐車場の台数は少なかったが、職員は止めないようにし、近所の方の協力を得ながら開催した。

今後は会場を増やすなどし、できるだけこちらが皆さんの近くに出向いていきたいと考えている。

○B委員

大曲エリアは広いので、開催場所の検討は必要だと思う。

●まだ1年でデータも少ないので、今後継続していくなかでデータや実績を積みながら、場所や対象を拡大していきたいと考えている。

○E委員

他の地区からも要望があった場合には、それは可能か。

●スタッフ数などの問題もあるが、要望があればできる限りやりたいと考えている。

■胆振東部地震に学ぶ学校の『減災教育と災害対応』に関する事業

「北海道地域政策調査会」による発表

《質疑応答》

○B委員

当日の参加者はどれくらい？

●2か所あわせて50名ほど。大曲会場は30名、団地住民センターは20名ほどだった。

○C委員

災害をテーマにしたものは今年はやらないのか。また後援をもう少しつけることはできなかったか。

●今年はまちづくりをテーマにしたものを考えている。災害対応については、一度終了の形

## 令和2年度 北広島市市民協働推進事業 公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

---

となる。

後援については、教育関係をテーマにしたものであったため、教育委員会などが後援となった。

### ○A委員

災害に対する心構えは一般の市民に広くいきわたってほしいと考えているので、継続してもらいたい。

報償費、食糧費について、予算と決算に大きな開きがあるが、事前に見通しは立たなかったのか。

●実際にやってみると予算通りいかない部分が多くあったが、市の会計規則にのっとっている。

### ○E委員

2会場に分ける意味があるのか。

●第1会場は大曲、輪厚、西の里地区の住民を対象に、第2会場は東部、団地地区の住民を対象にして開催した。今年は1か所で開催する。

## 6. 閉会